

全国の牽引役となるモデルプロジェクトとして、地域のスマートシティ実行計画に基づき、データや新技術を活用した先進的な都市サービスの実装に向けて取り組む実証事業を支援。

補助要件等

	都市サービス実装タイプ	戦略的スマートシティ実装タイプ
補助対象	先進的な都市サービスについて、 <u>早期に実証からまちへの実装までを一体的に実施する事業</u>	国が定める特定の政策テーマに関する先進的な都市サービスについて、 <u>早期に実証からまちへの実装までを一体的に実施する事業</u>
支援条件	①民間事業者等・地方公共団体を構成員に含むコンソーシアムであること ②都市・地域のビジョン、取組内容等を記載した「スマートシティ実行計画」を策定、コンソーシアムがHPに公開していること ③早期に実証からまちへの実装までを一体的に実施する事業であること（2028年度までに実装すること） ④スマートシティ実装計画（複数年にわたる計画も可）を定めること	①②③④ 左と同じ ⑤国が定める特定の政策テーマに合致した事業であること
補助率	定額補助（上限3,500万円） ※実行計画に基づく取組のコンソーシアム負担額が国の補助額を上回ること	定額補助（上限5,000万円） ※実行計画に基づく取組のコンソーシアム負担額が国の補助額を上回ること

令和8年度の戦略的スマートシティ実装タイプにおける政策テーマ

【テーマ①：地域資源の発掘・発信による地域の賑わい・生業創出】

地域資源（自然・伝統文化・ローカル産業・人的資源など）の収集・データベース化し、地域資源への情報アクセスや利活用を促進、地域資源の活用ニーズと活用アイデアを掛け合わせ、新たなビジネスモデルを創出する仕組みの構築 等

【テーマ②：地域における屋内外の面的な見守りのデジタル化】

世帯単位を対象とした見守りを地域に広げ、屋内外で面的な見守りを実現するとともに、地域組織等による迅速な対処を可能とする体制・システムの構築 等

【テーマ③：リアルタイムでの環境情報の提供等による回遊の高度化（暑熱対策等）】

エリアの気温、日陰情報等をリアルタイムで可視化するとともに、住民の快適性を低下させないスポットの創出・ルート案内等の手法の開発（通年における技術活用を含む） 等